

梅ヶ島 山の声



第4号 平成25年8月発行
 発行者 国土交通省 中部地方整備局
 静岡河川事務所 梅ヶ島出張所
 Tel: 054-269-2003 Fax: 054-269-2150
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>

～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスックン

皆様、今年の夏休みは如何でしたでしょうか。まだまだ、暑い日が続きますが、梅ヶ島出張所管内の今夏の出来事を夏季特集号として報告させていただきます。

夏季の安全利用点検を実施(夏休み期間中実施)

「ストップ! 水難事故」

河川はプールと違って水の流れが複雑で急に深くなるところもあります。また、今いる所が晴れていても、上流で雨が降ると水の量が急に増え、中州に取り残されるなどの水難事故になることもあります。

河川利用者に対し、川遊びの注意事項、雨や水位の情報入手方法等を記載したチラシやカードを配付しながら、水難事故防止の注意喚起を行いました。



夏休み中の河川利用状況



水難事故防止の声かけ状況

水難事故防止サイトはこちら→ http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/06_bousai/08_stopkasenjiko.html

大谷崩の対策工事がTV取材を受けました～8月20日(火)放映～



取材クルー

現場見学会「旬な現場」の開催の前に、報道機関の方を大谷崩の工事現場に案内し、TV取材を受けました。8月20日の夕方「SBSイブニングeye」で約6分間放映され、「急斜面の厳しい現場で命綱一本で行う作業は、地道で大切な作業」と取材して頂きました。



大谷崩



高さ800mの巨大崖崩れに迫る



6:33

約1kmを30分かけて行く



急斜面での作業



ランカーを打ってその上から崖崩れを誘っている

「旬な現場」大谷崩現場見学会を開催～8月22日(木)～

旬な現場をご案内

国土交通省では、フェンスで囲われ普段見ることが出来ない現場のうち、「作業のヤマ場」が見学できる現場をセレクトして、「旬な現場」見学会を実施しています。

静岡県内でも、「大谷崩」の他、「平成の大改修」「由比地すべり」「狩野川放水路」等で開催しました。

今後も随時実施しますので、下記ホームページを参照下さい。



平成の大改修



由比地すべり



狩野川放水路



http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/index.htm

「大谷崩」では、8月22日に開催し、県内の18名の方が参加され、開催状況は以下のとおりです。



大谷崩をバックに記念撮影



工事用モノレール試乗



工事の疑似体験



化石探し

お盆に地域の「花火大会」や「盆踊り」が開催されました

8月のお盆に、地域で開催された花火大会や盆踊りを見学してきました。打ち上げ毎に献発者の紹介がある花火大会は、素朴で暖かみがあり、故郷の少年時代を思い出し懐かしく思いました。

以下に紹介する写真は、素人のデジカメ撮影なので、鮮明ではありませんがご了承下さい。



13日(火):梅ヶ島盆踊り大会

やぐら太鼓を中心に



見事な太鼓裁き



中間で花火も

14日(水):新田花火大会

尺玉の迫力は凄い



15日(木):入島花火大会



山々にこだまする花火



「入島フォークジャンボリーS」

15日(木):戸持の花火大会



間近の花火は迫力満点

14日(水)・15日(木):有東木盆踊り

「男踊り」



「女踊り」



対面はこの踊りのみ



「なぎなた踊り」

最終日の「送り出し」



15日(木):大代の流しそうめん



長さ234m 流しそうめん



住民と静大生



坂道で流しそうめん



編集後記



国の重要無形民俗文化財に指定されている有東木盆踊りは、盆に先祖を迎えて、ともに踊りあかし、最後に先祖を送り出すという古式ゆかしき本来的な意義のある盆踊りで大変感動しました。

今号の報告以外に、8月17日(土)に真富士の里横で大河内夏祭り「夢フェスタ」が開催されました。

今回の「旬な現場」は、夏休み中に開催するため十分な募集期間がとれず大変申し訳ありませんでした。また、秋には大谷崩の紅葉を見ながらモノレールに試乗し、工事を疑似体験して頂く現場見学会を開催する予定です。開催日が決まり次第、本通信にてお知らせしますので、是非ご家族で参加下さい。